

5 【地域や時代背景】

昨今では、女性の社会進出が増えジェンダーレス社会の実現に向けて取り組みが進み、JC、仕事、家庭のバランスも変化し、JC への関わり方が多様化しております。女性の活躍が増える一方で受け入れる体制や、環境創りが必要だと考えます。さらに、在籍年数が短期化し JC の仕組みや魅力を伝えられるメンバーが少ないことで、新入会員へのフォローやコミュニケーション不足が発生し参加しづらい、会の仕組みが分からないなどを原因に参加率が低下しております。

より持続可能な会を紡いでいく為に、時代の変化に沿った環境創りや多様性を受け入れ、メンバー同士が繋がり尊重し合うことで会の更なる成長へと繋げていく必要があります。

【背景から事業を行う目的】

15 交流サポート委員会は二つの目的を定め、一年間を通して役割を全うして参ります。

一つ目は、女性会員や新入会員に会の仕組みの理解や魅力へ気付きを与え、多様な活躍の仕方を選択できる環境創りを行います。また、共に歩む家族や会社へも JC への理解や共感を深め、メンバーが周りからも応援してもらえる事で参加し易い環境を整えます。

二つ目は、新入会員をはじめ入会歴の浅いメンバーへ、コミュニケーション不足の解消やフォローを充実させ、誰一人取り残さないサポートをする事で JC の魅力を知ってもらいます。さらに、委員会の垣根を超えた繋がりを醸成し、フォロワーメンバーへも情報伝達しやすい環境創りを行い団結力に繋がります。

【事業の内容】

25 7月例会では、育 LOM の取り組みを実践し、事業内容に沿った情報発信や、より良い環境を創っていく為に家族・会社含めての意見交換や交流の場を設けます。メンバーの家族や会社にもより会のことや体制、環境創りを認知していただく機会を作ることで、JC 運動への共感や理解を深め、メンバー誰もが活躍できる会になると考えます。

そして、年間通して新入会員をはじめ入会歴の浅いメンバーへ、会の仕組みやメンバー同士をより知ってもらう機会として JC 運動以外での時間で四季折々に合わせたフランクな交流を行って参ります。

委員長連絡会議では、お互いの苦慮を分かち合い協力し合う事で、委員長同士が団結し、情報発信を行う事で、誰一人取り残さない情報共有を実現して参ります。

35 【事業の結果】

多様な活躍の仕方ができる環境創りの結果、会がメンバーの多様性を受け入れ、JC、仕事、家

族との好循環へと繋がり、メリハリのあるJC運動が可能となり、メンバーの意識が向上し、参加率が  
増え、発展と成長へと繋がります。

- 40 また、新入会員をはじめ入会歴の浅いメンバーは、積極的かつ丁寧なサポートによって理解し、尊  
重し合うことでコミュニケーション不足が改善し、会を理解する機会が増え楽しさを実感します。さらに  
横の繋がりが強固となり、団結力が高まることで参加率の向上に繋がり、持続可能な会を紡いでい  
けると考えます。

#### 【会員拡大について】

- 45 直前理事長の協力のもと、4人拡大します。  
女性が輝いて活躍できるように、女性目線の意見や入会時に背中を推せる体制、環境の創出によ  
り女性会員を一人でも多く入会に繋げる為に行動して参ります。  
楽しむ気持ちを忘れず愛を以って一年間精一杯取り組んで参ります。よろしくお願いいたします。

#### 50 【事業計画】

1. 7例会の開催
2. 会員の拡大